

大阪成蹊大学

国際観光学部

2022年4月開設予定

※学部設置届出中。予定であり変更の場合があります。

コロナ収束後の未来を見据え、 国際ビジネスや観光業界で活躍する人材の育成をめざす

新型コロナウイルスによる影響で、観光産業や様々な国際ビジネスは大きなダメージを受けており、なおかつ収束までは一般的に数年はかかるとも言われています。しかし、日本経済の回復には観光や国際ビジネスの復活は不可欠で、特にアフターコロナの最大のトリガーとなる産業は観光と言っても過言ではありません。

近年インバウンドの急速な拡大が顕著だった日本の観光産業ですが、アフターコロナにおいてインバウンドが直ちに以前と同じレベルまで回復することは難しいかもしれません。しかし実は、日本の観光消費の約80%は日本人の国内旅行が占めているのです*1。すなわち日本にはインバウンドの大幅な減少を受けても大きく崩れない基盤があり、まずはその基盤である国内の旅行・観光を活性化することが非常に重要と言えます。またインバウンドに関しても、今後のワクチン接種率の向上によって当初の予想よりも早く回復する可能性が考えられます。日本は、アフターコロナに旅行したい国や地域に関する調査*2においてアジアの人々の間で1位、欧米豪の人々の間で2位となり、世界中の人々が日本を再び訪れたいと思っていることが明らかになっ

ています。今後インバウンドの回復が軌道に乗れば、これまで以上の需要も期待できるでしょう。

観光だけではなく、ヒト・モノ・カネ・情報の国境を越えた移動が盛んになる中、新しい時代の仕事に求められるのは、外国語力、国際ビジネス感覚、問題解決力、コミュニケーション力、そして多様な国際社会への理解と寛容さ。これらを備えた「グローバル人材」への需要は、今後ますます増えることが予想されます。

大阪成蹊大学では、コロナ収束後、国際ビジネスや観光業界における人材の確保が一層重要になる未来を見据え、2022年に国際観光学部を開設します。大阪成蹊の55年に及ぶ国際観光教育の歴史を踏まえさらに進化した学びを、ぜひ多くの学生の皆さんに体験していただくことを願っています。

*1観光庁「訪日外国人消費動向調査」より

*2日本政策投資銀行・公益財団法人日本交通公社「訪日外国人旅行者の意向調査」より



副学長
国際観光学部
学部長就任予定者
国枝よしみ教授

INSPIRE JAPAN



時代の一步先を見て
アフターコロナの
日本を元気にする



めざす将来像から選ぶ、3つのコースの学び

国際観光コース

グローバルな視野を持って人と文化の交流を促し、人々に「幸せ」をもたらす新しい「国際観光」を創る

めざすキャリア

旅行会社の企画、営業 / 鉄道、バス、船舶会社の企画、広報、営業 / 国内外航空会社地上職、キャビンアテンダント、グラウンドスタッフ / 空港の運営 / プライダグ関連 / 国内外ホテルの企画、広報、宿泊営業 / テーマパーク、イベントの企画、広報、運営 / 旅行ガイドブック、旅行サイトの記者

観光まちづくりコース

自治体などの地域連携授業を通じて、地域の観光資源の発掘、観光政策の立案など地域の課題解決に貢献する

めざすキャリア

国家・地方公務員 / 各国観光局、観光協会職員 / 公益企業、団体職員 / 都市銀行・地方銀行等 / 鉄道、バス、船舶会社の企画、広報 / ホテル、旅館の企画、広報、宿泊営業 / 旅行会社の商品企画、営業 / ツアーガイド、翻訳ガイド / レジャー・テーマパーク施設の運営、広報

国際ビジネスコース

国際的な視野、国際社会の理解、外国語コミュニケーション力、ビジネスに関する専門知識や技能を備え、国際社会に貢献する

めざすキャリア

製造業の海外営業、バイヤー、現地法人駐在員 / 商社員、小売業の海外事業、現地店舗駐在員 / 航空会社・海運会社等の営業、経営管理 / その他サービス業の国際事業部門 / 外資系企業の日本法人社員 / 国際協力団体職員、外交官、国際公務員

国際観光学部の学びの特色

POINT

1

2回にわたる留学経験とレベル別カリキュラムで英語力・グローバル教養を身につける

1年次と3年次に2度の留学に挑戦できる「STEP留学」や、レベル別・少人数制の英語教育、課外でのネイティブ教員による個別指導によって、基礎的なビジネスコミュニケーションから、よりハイレベルな国際コミュニケーション能力まで着実に修得できます。



POINT

2

産・官・学連携授業を通じて実社会を体感する

自治体と連携し観光課題の解決に取り組む授業や、ANA総合研究所と連携し、サービスの最前線でのノウハウや航空・運輸業界の動向を修得する授業、その他にもグローバル企業の協力のもとで現場見学やプロジェクト型授業など、実社会を体験しながら学ぶことができます。

POINT

3

「ニューツーリズム」のあり方を実践的に学ぶ、フィールドワーク・プロジェクト授業を展開

現在、コンテンツツーリズム、スポーツツーリズム、ガストロノミーツーリズムなど、複数の価値とツーリズムを掛け合わせた「ニューツーリズム」への注目が高まっています。こうした可能性を探求し、自治体や企業との連携によるプロジェクト型授業を多数展開。豊富な経験を持つ教員の指導のもとで、地域観光の振興や観光事業の創出につながるニューツーリズムの実現をめざします。

POINT

4

国際的に活躍する国際・観光分野の著名人とともに、日本の観光業界や世界の未来を展望する特別リレー講義を開講

世界で活躍する国際・観光分野のトップ層・著名人を客員教授・ゲストスピーカーとしてお迎えし、それぞれの視点から日本の観光業界や世界の未来を展望する特別リレー講義を開講。世界の潮流に対する正しい認識と国際的な視点に立った物事の考え方を身につけます。

●客員教授 紹介



吉川元偉氏
元国連大使
常駐代表



野田仁氏
元駐ルーマニア特命全權大使



岡田晃氏
株式会社ANA総合研究所
顧問



川村雅彦氏
サンメッセ総合研究所(Sinc)
所長・首席研究員
株式会社ニッセイ基礎研究所客員研究員

POINT

5

国連世界観光機関(UNWTO)との連携教育を実現。世界の潮流を学び、次世代の観光を追求する

グローバル化の加速、SDGsの達成をめざす持続可能な社会実現への取り組み、未知のウイルスへの対処など、観光分野を取り巻く世界の潮流は絶えず変化しています。そこで本学では、観光分野における世界最大の国際機関である国連世界観光機関(UNWTO)との連携を実現し、国際機関の専門的見地から観光分野の世界的動向や課題について理解を深める「国際観光研究特別科目」を開講します。

※2021年1月暫定承認済、9月正式承認予定

